



水芭蕉満開に。

五泉市立川東中学校学校だより
令和6年11月15日発行 第8号
毎月1回発行（文責 校長）

「心貫く歌声」を届けられた。

去る10月25日（金）に東雲祭（体育祭）と並ぶ2大行事である川東中学校合唱祭「川音祭」（かわとさい）を開催しました。特に、本番直前の1週間は素敵な歌が声が校舎中に響き渡り、心地よい日々が続きました。そして迎えた当日、「心貫く」最高の歌声が体育館に響き渡りました。開会式で話した校長講話を紹介します。

昔の曲を聴いていたら、当時のことを思い出した、そんな経験はないか。

リズムを付けて繰り返したら、うまく覚えられた、そんな経験はないか。

私はこれまで勤務した学校の校歌を歌う度に当時を思い出す。その都度、音楽のもつ不思議な力を実感する。合唱をするとどんな良いことがあるのか、生成AIに尋ねたところ、

- ① コミュニケーション ② 感情表現 ③ 集中力と忍耐力
- ④ ストレス解消とリラックス ⑤ 自己肯定感 ⑥ チームワークと協力の精神

授業参観Weekにいらした方が「練習途中が面白い」と仰っていた。どういうことか。

練習を始めたばかりの頃は当然うまくは歌えない。そして、簡単には上達しない。それでも、繰り返し練習をしている内に、少しずつ変わってくる。本番を迎える前に、これまでクラスでどんなことがあったかを振り返ってほしい。



指揮者、伴奏者はどんな思いでやろうと決意したのか、思い出してほしい。

今日いよいよ本番を迎えます。緊張することでしょう。声が裏返ってしまったり、思うように出なかったりするかも知れないが、声を合わせて、心を合わせて最後まで歌いきってほしい。歌った後には必ず心地よさと一緒に、仲間との一体感を感じることができる。

「練習中に最も辛かったことは何ですか。」

「1番力を込めて歌いたい歌詞はどこですか。」



2学期（後期）が始まりました。

10月15日（火）から2学期が始まりました。生徒たちはわずかながらも3日をはさみ、気持ちを切り替えて2学期に臨んでいるようです。1学期終業式での講話を紹介します。

さて、4月から今日までを振り返って、「1番の思い出は何か」を考えてほしい。
「東雲祭」と答える人が多くいると思う。ならば、その中で1番印象に残っている場面を思い出してほしい。総合優勝や応援優勝が決まった瞬間、参加した競技の結果が出た瞬間、転んだ瞬間、大きな声を出して声が裏返った瞬間、などいろいろあると思う。その瞬間、どんな光景が見え、どのように感じたか、思い出してほしい。さらにその時の気持ちを「嬉しい」「悲しい」という普段使う言葉以外でぜひ表現してほしい。

1番の思い出として、「東雲祭」を選ぶ人はたくさんいても、具体的なエピソードが被る人は殆どいない。そこに個性が出る。

個性は決して出そうと思って出すものではなく、自ずと滲み出てくるものである。

「あなたの1学期の最大の思い出は何ですか。」「どんなエピソードが思い浮かびますか。」



「何もしない」は、いじめの当事者

ー第2回いじめ見逃しゼロ集会、終了ー

10月16日（水）第2回いじめ見逃しゼロ集会を開催し、当校の渡辺正人スクール・カウンセラーを講師に招いて講演会を行いました。講演の中で提示された事例について、生徒はグループ毎に話し合いを行いました。実施後の生徒の感想を紹介します。

「傍観者は人数が多いので、動くことでいじめを減らしていけると思った。」

「傍観者がいじめの空気を変える存在である。」

「いじめは傍観者が一番多く、小さなNo(ノー)でも出すことで、大きなNo(ノー)になる。」

「傍観者が何もしないと逆にエスカレートする。」

「何もしないということも、いじめの当事者だということを学んだ。」

「いじりはいじめを紛らわせる言葉、遊びはいじめを隠す言葉」

「傍観しているだけでは解決しない＝中立ではないという意見を見て確かに、と思った。」

恵愛祭復活に伴い、里芋配布は行いません。

【地域の皆様へ】コロナ禍の4年間、恵愛祭での里芋料理の提供を中止し、地域の一人暮らしのご高齢の皆様へ里芋配付を行ってまいりました。その折には、民生委員児童委員の皆様からご協力を頂きました。大変ありがとうございました。また、レシピと共に里芋を受け取られた方から感謝のメッセージを頂きました。大変ありがたいことです。

この度、恵愛祭における里芋料理【豚汁】の提供を復活させたことに伴い、地域への里芋配付は行いません。ご了承ください。



※ 当日の様子は次号12月号でお伝えします。